TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

王が来られた 生きている者の神

マタイによる福音書 22:23-33

2022年8月6日&7日

余沢 武 牧師

I. 始めに

ご挨拶申し上げます。さて、イエス様は救世主としてエルサレムに入られました。そしてユダヤ人の指導者たちの罪を咎めるべく、3つのたとえ話をされました。指導者たちは反論してきました。初めにやって来たのはファリサイ派とヘロデ党でした。今日はサドカイ派が反論してきた様子を見ていきます。 まずは祈りましょう。

II. 生きている者の神

(1) 問答

マタイ 22:23-28. ：[23] その日、復活はないと言っているサドカイ派の人々が、イエスに近寄って来て尋ねた。[24]「先生、モーセは言っています。『ある人が子がなくて死んだ場合、その弟は兄嫁と結婚して、兄のために子をもうけなければならない。』[25] さて、私たちのところに、七人の兄弟がいました。長男は結婚しましたが、子のないまま死に、その妻を弟に残しました。[26] 次男も三男も、ついに七人とも同じようになりました。[27] 最後にその女も死にました。[28] すると復活の時、彼女は七人のうち誰の妻になるのでしょうか。皆その女を妻にしたのです。」

ファリサイ派と比べて、サドカイ派は少数ではありましたが、「ユダヤの最高法院」「サンヘドリン」において最多数の議席を有していました。彼らの多くは有力な聖職者の家庭出身でした。 彼らは裕福な有力者で、神殿運営と祭司たちを支配していました。 彼らの信仰はペンタチューク(モーセによって書かれた旧約聖書の最初の5書)のみに権威を認めていました。彼らは死者の復活を信じず、この世的に良い人生を送ることを目的としていました。

サドカイ派の人々はイエス様に、旧約聖書の掟に関する問答を吹っ掛けました。その掟とは、ある人が子がなくて死んだ場合、その弟は兄の未亡人と結婚して子をもうけなければいけない、というものです。その子が遺産を継げるようにです。彼らの問答は、もし兄弟が次々と死んでしまい、7人兄弟全員が同じ女性と結婚したら、誰が復活後の御国で彼女の夫になるのか、というものでした。

もっともサドカイ派は復活を信じていませんでしたから、実際に答えを求めていたわけではなく、彼らは復活がいかにおかしな考えであるかを指摘しようとしていました。

(2) 天国では結婚はない

29-30 節: [29] イエスはお答えになった。「あなたがたは、聖書も神の力も知らないから、思い違いをしている。[30] 復活の時には、めとることも嫁ぐこともない。天の御使いのようになるのだ。

イエス様は彼らの問題を指摘されました。①彼らは御言葉＝聖書を知らない。②彼らは「神の力」を知らない。

驚かれた方もいらっしゃるかと思いますが、イエス様によれば、地上における婚姻関係は永遠ではないのです。これには二つの理由があります。

1.「 神の力」が、私たちの体を全く異なった永遠の体に変え、私たちは天使と同様に永遠に生きるようになります。 そのため、これもまた天使と同様に、婚姻も誕生も成長も死もなくなります。

2. 聖書ではクリスチャンとして、私たちはイエス様と婚約しているとされます。イエス様との婚姻関係においてのみ、私たちは真に満たされることができるのです。地上でのなされる結婚は、これを学ぶ場です。イエス様のように愛することを

学び、またどのようにイエス様を愛するかを学ぶ場なのです。

私がよく、結婚カップルに「結婚」は霊的成長の生産工場だ、と言うのはそれが理由です。たくさんの信仰の篤いカップルが、結婚してまもなく問題を抱えるのを見てきました。外で優しい人でいるのは簡単ですよね。みんな教会では愛にあふれた人になれます。

問題は、疲れて家に帰った時です。休みたいのに家族は協力してくれない時、自分が望むようには相手が行動してくれない時、私たちの愛が試されます。私たちが本当に愛にあふれた人かどうかが分かります。誰かが本当に優しい人かどうか知りたければ、その人の家族に聞くのが一番です。

多くの夫婦が自分たちで問題を解決しようとします。新しい方針やルールを設定します。でも大抵はうまくいきません。原因が、ルール不足ではないからです。本当の問題は、自己中心的な罪深い心です。乗り越えるための大切な3ポイントです：

① 彼らが毎日デボーションの時をもち、聖書を読み

② イエス様の前にへりくだって自らの罪を認め

③ イエス様の助けを求めるようになって初めて、本当にイエス様のように愛することを学べるようになります。そうすることで初めて、結婚の祝福を見出すことができるのです。

結婚の最終目標はこれです。イエス様のように愛し、イエス様を愛することを学ぶ。それを通して、永遠のイエス様との結婚に向けて自分を整えることができるのです。
「独身」の人も同じことです。また仕事や学校、家族や教会での人間関係を通して、イエス様との結婚に向けて準備しているのです。

地上での結婚は永遠への準備過程です。でも結婚そのものは永遠ではありません。でも永遠の時においては、私たちは地上での配偶者を今現在よりも優れた愛で愛するのです。そして他の人に対しても同様に、さらなる愛で愛するでしょう。皆、「神の愛」を有するからです。

（3） 聖書と神の力を知らない

31-33 節: [31] 死者の復活については、神があなたがたに言われた言葉を読んだことがないのか。[32]『私はアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である』とあるではないか。神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ。」[33] 群衆はこれを聞いて、イエスの教えに驚いた。

復活があることを説明するために、イエス様はご自身が神として「燃える芝」の間からモーセに言われたことを引用しました。神は『私はアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である（現在形）』。と言われたこの場面です。

神がこれを言われたのは、アブラハム、イサク、ヤコブが死んでから何百年も経ったあとであることに注目してください。もし「復活」がないなら、アブラハムたちは死んだままのはずです。朽ちた遺体が残っているだけならば、神は遺体の神ということです。そんな神の民になりたい人がいるでしょうか。

想像してみてください。「神様、あなたの民はどこにいるのですか」と聞いたとします。神様に墓地に連れていかれて、「ほら、ここにみんないるよ。」と言われて見ると、腐敗した遺体が…
イエス様は言っています。「神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ。」と。神様は質問した人を墓地には連れていきません。神様は、神の力によって甦らせ、神の栄光、つまり神の御性質・神の愛・神の命へと変えられた人々の元へとその人を連れていくでしょう。

「神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ。」イエス様はサドカイ派の人々に言われ

ました。「あなたがたは、聖書も神の力も知らないから、思い違いをしている。」
神の力は、人を死から命へと甦らせるだけではなく、人を栄光に満ちた永遠の存在へと変えることができるのです。

サドカイ派は神の力を完全に過小評価していたために、復活を正しく理解することができていませんでした。だから復活の後、誰が未亡人の夫になるのか疑問だったのです。

サドカイ派の誤った「復活」の理解によると: 人は人生を、願望・金銭・名誉を求めて生きる。死ぬとそのままで天国に行き、同じ生き方を続ける。

聖書的な「復活」によると:私たちは完全に変わるのです。第一に、人が神の民となる時、その人は自らの願望・金銭・名誉を追うことをしなくなる。代わりに神の御性質・愛・栄光を求めるようになる。

その過程は、ちょうど芋虫が蝶へと生まれ変わるようなものです。芋虫がさなぎになって周りの環境から自らを隔離するように、私たちも環境から距離を置き、聖書を読み、神様に自分を変えていただくように祈るクワイエット・タイムを持つのです。芋虫の体は化学的に分解されます。体が幹細胞のような未分化状態の細胞に分解されます。それから全く新しい形に組み替えられます。私たちも完全に分解され、全身変えられるのです。

ある日、芋虫は蝶という華やかで美しく変容した生き物になって、古い体を突き破って出てきます。
復活の日は、私たちが蝶になる日です。このように私たちも全く新しい人になるのです。神の御性質・愛・栄光に満ち、神の永遠の命をもった、神の民として。

「神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ。」

(4) まとめ

イエス様が来られ、十字架で死なれたのは、私たちが・・・
自らの自分勝手さと罪深さに気付き、神様に変えていただく必要があることを認めるように。
イエス様の十字架での死は、私たちの罪の代償であったことを私たちが受け入れるように。
神様がイエス様の義によって私たちを覆って下さること、神の御霊が私たちを内から完全に変えてくださることを受け入れるように。
復活の日に、神の完全なご性質・完全な愛・完全な栄光の内に、神の栄光ある永遠の命をもって私たちが復活させられることを信じるように。

私たちは神の愛によって、永遠に完全に違った人生を生きることになるのです!

「神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ。」

あなたはサドカイ派のように、自分の願望・金銭・名誉を求めて生きていますか。サドカイ派の人々は「聖書」と「神の力」を知らなかったために、そうして生きていました。イエス様は、願望・金銭・名誉には命は見出せないと言っています。

代わりに、イエス様を主として、救い主として「受け入れ」ましょう。そして、イエス様のご性質・イエス様の愛・イエス様の栄光を「追い求め」るのです。そうすれば、「変化」は今日から始まります。 そしてある日、あなたも神の完全なご性質・完全な愛・完全な栄光の内に、主の栄光ある永遠の命をもって「甦る」でしょう。

「神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ。」とイエス様が言っていますから。今日、これらの行動を始めてくださいますようにお祈りします。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg3222jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9月10日（日）13：30～17：30
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．週末礼拝メッセージ翻訳者（数名募集）
1か月半に1度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語を日本語へ翻訳します。

2．日本語字幕オペレーター（4名募集）
月1回～各礼拝の時間（特に3時、5時の礼拝募集）の字幕のページをめくる奉仕です。英語を聞いて日本語がどの翻訳部分かわかる程度の英語力が必要です。操作は矢印キーを押すだけの簡単なものです。

連絡先（ひろみ）：
hiromik@tokyobaptist.org